

施策名：高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築

事業名	担当課・室名	ページ
いきいき高齢者地域活動推進事業	高齢者福祉課	1 / 6
地域服薬健康相談事業	薬務室	2 / 6
地域包括ケアシステム構築推進事業	高齢者福祉課	3 / 6
介護サービスクオリティ向上事業	高齢者福祉課	4 / 6
地域医療介護ネットワーク構築推進事業	高齢者福祉課	5 / 6
市町村認知症施策強化推進事業	高齢者福祉課	6 / 6

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	いきいき高齢者地域活動推進事業		事業期間	平成28年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築			
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 伊東 雅人			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	高齢社会の進行に伴い、高齢者の社会参加の必要性が高まっている。	事業の目的	高齢者の社会参加促進による地域社会の活力向上を図るため、高齢者が地域を支える担い手となるための人材育成と相互支援の仕組みづくりを推進する。
-------	---------------------------------	-------	-----------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①元気高齢者地域活動応援事業 高齢者による生活支援サービスや、介護補助等の事業立ち上げを支援 実施主体：大分県老人クラブ連合会、60歳以上の者が過半数を占める団体 ②おおいたアクティブシニア養成講座開催事業 元気な高齢者が地域を支える担い手となるための講座を開催 ③ふるさとの達人活動支援事業 豊かな知識や技能を活かし地域活動をする人材の掘りおこしと登録	①	7,998	総コスト	14,848	14,962	16,636
	②	1,900	事業費	9,848	9,962	11,636
	③	1,400	(うち一般財源)	4,236	4,350	5,855
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	11,298	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	補助事業実施団体数(団体)	目標値		75	75	75		71%	ふるさとの達人登録者数(人)	目標値	674	692	710		
実績値			67	66			実績値			677	674				
達成率			89.3%	88.0%			達成率			100.4%	97.4%				
おおいたアクティブシニア養成講座受講者数(人)	目標値		50	50	50		17%		目標値						
	実績値		41	45					実績値						
	達成率		82.0%	90.0%					達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
老人クラブ新規加入者数(人)(累計)	目標値		100	200	400		<b>a</b>	アクティブシニア養成講座の開催により、社会貢献活動等に意欲ある高齢者に必要な知識や実践力が養われた。また、元気高齢者地域活動応援事業により生活支援サービスや地域貢献活動等、高齢者の地域での活動の促進につながった。
	実績値		135	301				
	達成率		135.0%	150.5%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助対象事業の見直し</li> <li>広報の強化</li> <li>自治会等地域活動団体との連携</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>介護補助を「子育て等支援」に変更し、新たな分野での活動を促進</li> <li>老人クラブ等地域活動団体や補助団体の活動調査を行い、好事例の情報発信等により活動を促進</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	地域服薬健康相談事業		事業期間	平成29年度～平成 年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
				施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築					
総合評価	<b>B</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	薬務室		評価者	薬務室長 北村 浩一			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域の薬局は、多職種と連携し積極的な健康サポートの役割（地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援）を求められている。	事業の目的	在宅患者等における薬の適正使用や、薬剤師の在宅医療分野への参画を推進するため、薬剤師に対する研修及び高齢者等に対するお薬健康相談を実施する。
-------	--------------------------------------------------------------	-------	------------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①お薬健康相談事業 無薬局地域（高齢者が徒歩で薬局へ行くことが困難な地域(薬局から1km圏外)）を対象にお薬健康相談を開催 ②地域医療に貢献するための資質向上研修 在宅療養中の患者に対して、適切な服薬指導を行う薬剤師を育成	①	982	総コスト		3,368	3,686
	②	738	事業費		1,368	1,686
	③		(うち一般財源)			
	④		人件費		2,000	2,000
	計		1,720	職員数(人)		0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	お薬健康相談実施回数(回)	目標値			60	60		57%	目標値						
実績値				75			実績値								
達成率				125.0%			達成率								
資質向上研修実施回数(回)	目標値			4	4		43%	目標値						a	
	実績値			4				実績値							
	達成率			100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
お薬健康相談会等で地域に向いた薬剤師の数(人)	目標値			60	60		b	地域の在宅患者等は、医薬品等の適正使用に関する知識を得ることができ、医薬品等に関する不安や疑問等が解消された。また、お薬健康相談会を通じて、地域の薬局薬剤師と住民との繋がりが増え、薬剤師が在宅医療に参画する体制が整備された。
	実績値			53				
	達成率			88.3%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
・地域の薬局における在宅訪問業務の定着	今後の事業方針 ・在宅医療の専門的な知識や技術を習得する研修を実施 ・お薬健康相談会を実施していない無薬局地域へのお薬健康相談会の実施				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	地域包括ケアシステム構築推進事業		事業期間	平成26年度～平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～	
					施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築	
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 伊東 雅人	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	超高齢化社会（高齢化率が21%超）において、高齢者が地域で安心して暮らせるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供できる仕組み（地域包括ケアシステム）が求められている。	事業の目的	地域包括ケアシステムの構築を図るため、地域ケア会議の充実と地域ケア会議から明らかになった地域課題の解決に取り組む市町村を支援する。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①地域包括ケアシステム構築に向けた人材育成 地域包括ケアシステムを推進するため、必要な知識・技術等を支援する研修を実施 ・リハ職等スキルアップ研修(延べ1,814人受講) ・訪問・通所介護事業所等を対象にした研修を実施(延べ462人受講) ・地域包括支援センター・市・保健所を対象にした研修を実施(延べ203人受講)	①	8,027	総コスト	26,370	28,459	31,638
	②	7,178	事業費	11,370	13,459	16,638
	③	678	(うち一般財源)			
②在宅医療・介護の連携に係る市町村支援 市町村が郡市医師会と一体的に在宅医療・介護連携推進事業を行うため、地域ケア会議への医師の参画支援、医療・介護職を対象とした多職種研修等を実施(延べ1,095人うち医師71人)			人件費	15,000	15,000	15,000
③地域包括ケアシステム構築に向けた関係機関の連携促進 地域包括ケア推進大会(250人参加)	計	15,883	職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	地域包括支援センター研修受講者数(人)	目標値 実績値 達成率	170 173 101.8%	170 173 101.8%	200 203 101.5%	200		51%	地域包括ケア推進大会参加者数(人)	目標値 実績値 達成率	300 303 101.0%	300 250 83.3%	300		
地域ケア会議への医師派遣延べ人数(人)	目標値 実績値 達成率	15 16 106.7%	15 16 106.7%	9 15 166.7%	6		45%		目標値 実績値 達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	医師が参加する地域ケア会議設置数(市町村数)	目標値 実績値 達成率	3 5 166.7%	3 5 166.7%	8 8 100.0%	14		

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援の推進に向けた保険者機能の強化</li> <li>重度化防止に向けた医療・介護提供体制の仕組みづくり</li> <li>地域ケア会議における認知症対応力向上</li> </ul>	今後の方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>終了</span> <span><b>継続・見直し</b></span> <span>例外的に継続</span> <span>廃止</span> </div>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援の推進に向けて、県が委嘱した広域支援員を積極的に活用し、保険者機能を強化</li> <li>重度化防止に向けて、県レベルの協議会、圏域別研修等を実施し、医療・介護連携の取組を推進</li> <li>地域ケア会議に認知症サポート医等が参画し、ケアマネジャーや事業所等の認知症対応力を向上</li> </ul>

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	介護サービスクオリティ向上事業		事業期間	平成29年度～平成30年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～			
						施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築			
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 伊東 雅人			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	団塊の世代が後期高齢者となる2025年(平成37年)に向けて、介護人材の確保が急務となっている。	事業の目的	介護サービスの質の向上を図るとともに、労務環境の改善を通じて人手不足の解消を目指すため、介護サービス事業所の業務効率化を促進する。
-------	--------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①介護サービス事業所の業務効率化 ・外部の専門家により、介護サービス事業所(4施設)の業務を調査・分析 ・改善が必要な3施設に対し、抽出した効率化すべき点を踏まえて改善提案を行い、業務改善効果を測定 ・改善効果については、広く他の事業所へ周知	①	5,000	総コスト		6,298	8,000
	②		事業費		3,298	5,000
	③		(うち一般財源)			
	④		人件費		3,000	3,000
	計		5,000	職員数(人)		0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	本事業による業務改善調査分析の取組施設数(箇所)	目標値			4	4		4	100%	目標値					
実績値				4			実績値								
達成率				100.0%			達成率								
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
本事業モデル施設における有給休暇取得向上率(%)	目標値			10.0	10.0	10.0	a	5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動や勤務形態等の見直しにより、介護職員の業務負担の軽減・効率化等が図られ、本事業のモデル事業における介護職員の休暇取得日数の増減率が目標値を達成し、労務環境の改善につながった。
	実績値			15.6				
	達成率			156.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス事業所に対する業務効率に係る手法や改善効果の周知・啓発</li> <li>効果等の広報による介護サービス事業所の業務改善・働き方改革の意識の醸成</li> <li>介護サービス事業所が作成する書類が多く、時間外の記録作成が常態化</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>29年度の事業成果を広報し、30年度の取組事業は公募にて選定</li> <li>29年度のモデル事業所(特養、老健)とは異なったサービス区分で、対象事業所を決定し、引き続き業務効率化・生産性の向上を推進</li> <li>厚労省が進めている文書量の半減の取組をさらに推進するよう、国へ要望</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>		

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	地域医療介護ネットワーク構築推進事業		事業期間	平成29年度～平成29年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～				
				施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築						
総合評価	A		終了	事業実施課(室)名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 伊東 雅人			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	医療・介護ニーズを併せもった高齢者人口の増加、医療・介護を提供する生産年齢人口の減少を背景に、患者・利用者を中心とした効率的な医療・介護のサービス提供体制の整備が求められている。	事業の目的	状態変化に応じた質の高い医療・介護サービスを提供するため、ICT環境を整備し、医療・介護関係者間で対象者ごとに医療関連(既往症、薬剤、認知機能状況など)と介護関連(サービス内容、利用施設、生活自立度など)の情報を共有する。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①地域医療介護ネットワーク構築推進事業費補助 由布地域包括ケア推進協議会に対し、市内の医療介護の連携が円滑に行えるよう患者・利用者の情報を共有する連携ツールを作成し、ICTを活用した地域医療介護ネットワーク基盤を整備するためのシステム導入経費の一部を補助する。 【補助対象：由布地域包括ケア推進協議会】 ・対象となる患者・利用者数 31人 ・システム導入事業所数 平成29年度：41事業所(挾間地区)	①	3,572	総コスト		6,571	
	②		事業費		3,571	
	③		(うち一般財源)			
	④		人件費		3,000	
	計		3,572	職員数(人)		0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	評価
	ネットワーク構築・システム普及に係る検討会・説明会の開催回数(回)	目標値			13			13	100%		目標値				
実績値				13		13	実績値								
達成率				100.0%		100.0%	達成率								
	目標値								目標値						
	実績値								実績値						
	達成率								達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果
ネットワークに参加する医療機関・介護事業等の施設数(箇所)	目標値			41		41	a	ネットワークを整備し、適時適切な情報共有が促進されることにより、由布市内の医療・介護サービスの質の向上が図られ、利用者の状態にあったより質の高い医療・介護サービスを提供できるようになった。
	実績値			41		41		
	達成率			100.0%		100.0%		

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用地域の拡大</li> <li>ネットワーク活用による業務改善効果検証</li> <li>他自治体への普及啓発</li> </ul>	今後の事業方針 ・実施主体である協議会に対して県がヒアリングを行い、ネットワーク活用の実態把握に努め、事業の成果を他自治体に周知				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	市町村認知症施策強化推進事業		事業期間	平成27年度～平成29年度		政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築～健康寿命日本一の実現～					
				施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築							
総合評価	A		終了	事業実施課(室)名	高齢者福祉課		評価者	高齢者福祉課長 伊東 雅人				

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	高齢化の進展に伴い、今後さらに増加する認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるための支援体制の整備が課題となっている。	事業の目的	認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるようにするため、民間セクター等を含めた幅広い分野の関係機関との協働による「認知症にやさしい社会」づくりを推進するとともに、市町村が実施する認知症施策の取り組みを支援する。
-------	----------------------------------------------------------------------	-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①市町村認知症施策応援事業 市町村へのスーパーバイザーの派遣(13回)、認知症の総合アセスメント研修の開催(1回) 認知症初期集中支援チーム員合同研修(1回)、 認知症初期集中支援チーム員研修の派遣(10人)、認知症地域支援推進員研修の派遣(2名)	①	1,720	総コスト	7,901	8,849	
	②	1,074	事業費	1,901	2,849	
②認知症カフェ推進フォーラム(1回)、認知症カフェガイドブック作成	③	516	(うち一般財源)	503	870	
③認知症施策プロデュース事業 認知症施策プロデュース委員会の開催(4回) 部会の開催「運転免許課・市町村間連絡票検討会」:1回 「認知症カフェガイドブック検討会」:2回	④		人件費	6,000	6,000	
	計	3,310	職員数(人)	0.60	0.60	

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	評価
	認知症施策プロデュース委員会の開催回数(回)	目標値		10	4			4	52%	認知症カフェ推進フォーラム出席者数(人)	目標値		300		
実績値			10	4		4	実績値				308		308		
達成率			100.0%	100.0%		100.0%	達成率				102.7%		102.7%		
認知症初期集中支援チーム員研修の派遣(人)		目標値		6	10		10	32%	目標値						
		実績値		6	10		10		実績値						
		達成率		100.0%	100.0%		100.0%		達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果	
	認知症初期集中支援チームの設置自治体数(市町村)	目標値		13	18			18	a
実績値			13	18		18			
達成率			100.0%	100.0%		100.0%			

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村とともに、地域の認知症の早期診断・早期対応力の強化</li> <li>市町村を越えた認知症高齢者の見守り支援ネットワークの構築</li> <li>若年層介護家族・介護従事者支援強化</li> </ul>	今後の方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">終了</div> <div>継続・見直し</div> <div>例外的に継続</div> <div>廃止</div> </div>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期から認知症高齢者を支える体制をつくるため、認知症地域支援推進員を中心に地域の認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター、認知症サポート医等との連携をさらに強化するとともに、家族支援・介護従事者支援を強化するため、認知症にやさしい地域創出事業に組み替え、引き続き事業を実施</li> </ul>